

# 京都GPN-news vol.13

京都グリーン購入ネットワークニュース

## TOPICS

### 1万人のグリーン購入 キャンペーンが終わりました！

「私の環境にやさしい買い物宣言」

合計 約1,040



京都グリーン購入ネットワークでは、12月1日から1月20日まで「1万人のグリーン購入キャンペーン」と称して、環境にやさしい買い物キャンペーンを行いました。環境にやさしい買い物をします、という宣言を集めたところ約1040件の宣言が集まりました。

キャンペーンでは、地元の農産物を選ぶ「地産地消」や詰め替え製品、リユース製品などごみの少ない製品、省エネ製品選を紹介しました。応募にあたって、実践しているエコな買い物の書き込みも多数いただきました。朝市や無人販売、スーパーの特設コーナーで地元の野菜を買うようにしているという人、ちょうど家電を買い換えるので省エネタイプのものにしますという人、長年乗っていた車を低排出ガス車に乗り換えたという人……。環境への想いを熱心に書いてくださった方もいらっしゃいました。

「環境配慮型のを主体的に選ぶ、選びたい」という消費者「グリーンコンシューマー」が確実に存在することがわかった結果となりました。グリーンコンシューマーが増えれば、メーカーや小売企業の環境の取り組みを後押しすることになり、市場のグリーン化をすすめることができます。次年度はさらに呼びかけを強化し、キャンペーンを活用してグリーンコンシューマーを増やすと同時に、企業、自治体が、グリーン購入に取り組みやすい仕組みをつくっていくよう働きかけていく予定です。

#### 📅 キャンペーン実施期間

2007年12月1日(土) ~ 2008年1月20日(日)



キャンペーンウェブサイト URL  
<http://www.k-gpn.org/ichimannin>

📞 あったらしいなエコ商品アイデアについての発表は近日中にいたします。

※景品の当選は発送をもって替えさせていただきます。

### 参加した会員の感想……

#### 南丹市

南丹市では「1万人のグリーン購入キャンペーン」について、職員には庁内電子掲示板で、住民には全戸配布の「お知らせなんたん」に掲載し広報しました。

グリーン購入について、名称は知っているけど具体的にどのようなものかわからない方も多くいらっしゃったかと思えます。今回のキャンペーンでグリーン購入を知り、キャンペーンに参加はしていなくても実践していただいた方、また実践しようと思われた方が一人でもあればうれしく思います。

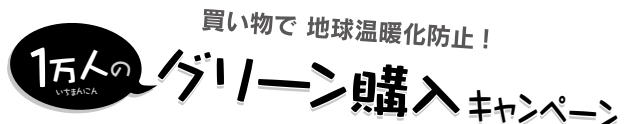
南丹市市民部 環境課 環境企画係 小峰 美子

#### (株) 村田製作所

当社では、12月8月、9日に開催されました京都環境フェスティバルにて、当社のブースに来て下さった方々への呼びかけという形で「1万人のグリーン購入キャンペーン」活動に参加させて頂きました。

呼びかけを行うにあたりまして、例えば既に大勢の方々が買い物の際には袋を持参されているなど「環境」への意識が「自分くらいはやらなくても」から「自分がやらなければ」へと移行してきていることが実感できる良い機会にもなりました。

株式会社村田製作所 環境管理部 環境管理課 主任 細見 桂子



買い物で 地球温暖化防止！

**昨**年に引き続き、3社の環境活動を見学しました。見学先は(株)島津製作所、サントリー株式会社京都ビール工場、嵐電ブラッシュ・アッププロジェクトが行われている御室仁和寺駅。参加者は約30人でした。

## プログラムの内容



(株)島津製作所にて

水筒、マイ箸、  
資料用袋の持参を  
よびかけました！



### ●(株)島津製作所

EMSに従った環境負荷低減活動の成果、自社のコア技術を活用した排水の遠隔自動監視システムによる環境リスク低減活動の実践、RO(逆浸透)膜による工場排水のリサイクルシステム、環境ソリューション事業(原位置土壌浄化技術、RoHS & REACHセミナー)、各種環境社会貢献活動や環境管理会計(マテリアルフローコスト会計や環境効率性の指標)の紹介。

### ●サントリー株式会社京都ビール工場

工場内での環境の取り組み、2005年6月に設立された「西山森林整備推進協議会」に参画し、地域、行政、自然保護団体、各種ボランティア団体の皆様と手を携え、西山の水資源保全及び緑化資源の確保を積極的に進めていることについての紹介。



サントリー工場内



御室小学校の小学生が京都府産材でつくった花壇

### ●嵐電ブラッシュ・アッププロジェクト

平成22年に開業100周年を迎えるにあたり取り組んでいる「ブラッシュアップ」プロジェクトの紹介。中でも、龍安寺・御室仁和寺駅のホームでは、花壇を設置し、植栽・水やりを地域住民の皆さんと協働で管理をしている。今年は、環境NPOと協働で8駅に雨水タンク、京都府産木材のプランターを設置する予定。地元自治会・町内会、沿線の小中学校に協力をお願いし、嵐電と地域とのネットワークを形成しようとしている。

## 感想……

(文/大日本スクリーン製造(株) 環境安全部 環境安全グループ 担当係長 山下哲朗)

今回は見学会に参加させて頂きありがとうございました。今回の訪問先(関連先)は企業、NPO、学校、地方自治体だったのですが、「企業活動」、「多くの方々の共力で立ち上がった活動」など、同じ京都の中で行われている環境活動事例を自分の肌で体験できてよかったです。その背景には、「人と自然(水)」を「守り、育てる」という持続可能な社会を形成する上で必要なもので、皆がそれを感じたから実現したと思っています。

また、今回の見学を通じて、共力(共有し維持すべきものを、共に力やアイデアを出し合って、互いが協力)することで、難問でも解決できる可能性があがることを再認識しました。また、様々な業種の方々とお話しでき、異なった視線の見方ができるようになった気がしています。

最後に、来年以降も、このような見学会の企画、実施をお願い致します。



### — 「環境」でチャレンジを続ける —

## 明

治30年創業。今年で110周年記念を迎える京都理化学器械株式会社は理化学器械の専門商社として分析機器や実験器械・器具を扱う。歴史ある企業ながら、まるで誕生したばかりのベンチャー企業のように日夜新たな挑戦を続けている。そのキーワードが「環境」だった。

### ■「環境」で会社を立て直し

環境の取り組みをはじめたのは、2000年ごろ、商売が傾いたことがきっかけだった。業界として市場はそれほど大きくなく小さな企業がひしめきあっているだけに競争が激しい。「環境」と「サービスの品質向上」で会社の方向付けをし、他社と差別化していきたいと考えた。



お話をおうかがいした 専務取締役の小西敏さん（左）と業務管理部課長の山田雅昭さん（右）。

環境に取り組むことは、その後、追い風となった。1997年に京都で開催されたCOP3（気候変動枠組条約第3回締約国会議）をきっかけに、環境対応型機器へのニーズが高まった。

大学等研究機関が顧客になるため、取り扱い商品はもともと環境対応のものが多かった。それが、ここ数年、さらに進み、有害物質を含まず再利用できるもの、塗装に耐薬品性のものを使うなど素材が長持ちするものになったりしている。欧州のROHS指令に対応した機器への問合せも増えてきた。理化学器械は今や環境がスタンダードといえる。

使わなくなった機器や消耗品の引取り、地球環境を考えた適切な処分・リサイクルも行っている。しかし、「これからは再利用（リサイクル）より再使用（リユース）にむかうべき」と小西さんはいう。リサイクルでは、新たなエネルギー資源を使うことになり、地球温暖化防止にはつながらないというのだ。こうしたリユースに関する新しいサービスは今後、新たなビジネスチャンスにつながっていくのかもしれない。

さらに今、環境対応への要望は取り扱い製品だけではなく、KESやISO14001といった環境マネジメントシステムの取得が最低条件となった。

同社でも、KESステップ2を取得している。

### ■全社員が交替で研修に参加

社員数は20人。全員が揃うのは難しいが全員に交替で環境の研修に出席させている。中には、環境対応商品の展示会など、直接新たなビジネスチャンスにつながるものもある。情報誌の閲覧や社内報でも積極的に環境情報を発信。「効果的なのは朝礼です」。全員が揃うこの時間を利用して社員の意識を高めている。少ない人数ながらも積極的に意識を高める工夫をされていた。

### ■続く環境チャレンジ

「京都には、取引先となる大手企業が多い。そうした企業は環境に積極的に取り組み、日本の環境の取り組みをリードしている。これらの動向をしっかりとウォッチしながら、積極的に対応していきたい」と小西さん。

今後はビルの建て替えも予定している。「ぜひ環境対応型のビルを建てたい」。烏丸通りに面した建物だけにシンボリックなものになるかもしれない。その他にも「営業車はすべて環境配慮型にしたい。ペーパーレス化も図りたい」とこれから挑戦したいことの話が

尽きなかった。常に時代を読み取り、新しいことに挑戦していくこの姿勢こそが、一世紀にわたって商いを続けた秘訣かもしれないと感じた。

（文／事務局 有川真理子）

## 役員紹介



京のアジェンダ 21 フォーラム  
事務局コーディネーター 小山 直美 さん

「グリーン購入まめ知識」でご紹介させていただいたとおり、フォーラムでは、京グリーン電力制度の取組みを始めたところ。今後も京都 GPN の活動をとおして、環境負荷の少ない商品・サービスを作る人、買う人の輪が更に大きく広がることを期待しています。

## ●古紙偽装について

年始から、年賀はがきをきっかけに古紙偽装が発覚、そして2月には再生プラスチック偽装が発覚しました。これらはグリーン購入を根幹からゆるがす行為であり、断じて許されるものではありません。

グリーン購入ネットワーク（GPN）では、古紙偽装に関する声明やメーカーに対し、質問状を送付、担当者のヒアリングを行います。詳しくはGPNのウェブサイトをご覧ください。

この影響で、環境配慮型製品に対し疑問を持つ人も増えていますが、紙であれば、改めてできる限り古紙配合率の高いもの、白色度の高くないものを優先して選びましょう。

## グリーン購入 まめ知識



事業活動・イベントなどで使う電力を、  
自然エネルギーで生み出した電力に

みやこ  
京グリーン  
電力制度が  
スタート



市民、事業者、行政のパートナーシップ組織である京のアジェンダ21フォーラムでは、今年度、京都独自のグリーン電力制度※、「京グリーン電力制度」を始めました。

### ■京グリーン電力制度の仕組

京グリーン電力制度とは、京都市内の市民共同おひさま発電所（市民、事業者が寄付を出し合って、保育所等に太陽光発電パネルを設置する取組）で発電した電力をフォーラムが「京グリーン電力」として認証し、事業者などに購入していただく仕組です。

### ■京グリーン電力制度の特色

京グリーン電力制度は、京都で自然エネルギーから生み出した電力の環境価値分を、証書購入を介して京都で利用してもらうという、自然エネルギーの地産地消の取組です。また証書購入代金は、特定非営利活動法人きょうとグリーンファンドの「おひさま基金」にプールされ、市民共同おひさま発電所の増設に利用されます。

既に昨年12月の「京都・嵐山花灯路（主催 京都・花灯路推進協議会）」、今年2月16日の「脱温暖化パートナーシップフォーラム（主催 京都市）」にて、京グリーン電力制度が利用されました。フォーラムでは、ただ今、供給量の確保など来年度以降の本格的な制度の運用に向けて、制度の整備を進めているところです。詳しくは、フォーラムのホームページ <http://ma21f.web.infoseek.co.jp/> をご覧ください。

※グリーン電力制度……グリーン電力とは、太陽光などの自然エネルギーによって発電され、第三者機関によって認証された電力のことを言い、環境負荷の少ない電気という「価値」を持っています。グリーン電力制度とは、その価値に値段を付けて「グリーン電力証書」として発行し、事業者等に購入していただくことでグリーン電力の生産・利用の拡大を目指す取組です。

## （株）中央精器

- 代表者：代表取締役 内田 税雄
- 担当者：営業部長 外村 繁行
- 連絡先：〒616-8337  
京都市右京区嵯峨明星町 5-21  
TEL) 075-871-8400  
FAX) 075-872-2040  
E-mail) s.tonomura@u-chuouseiki.co.jp

### ■グリーン購入に関して企業 PR

弊コピーサービス及び事務機器販売・レンタルを行っている会社です。コピーサービス部門では顧客ユーザーに紙での資料保管からスキャンングデータ変換を行い専用ファイリングソフトでの資料保管へ移行することにより省スペース・省エネルギー・省資源化に結びつくことを提案しております。



グリーン  
名刺

交換会

会員さんの誌上名刺交換会  
コーナーです。

## 京都グリーン購入ネットワーク 会員数 (2008年1月末現在)

- 会員数 : 143 (内訳: 企業 106/ 自治体 7/ 団体 21/ 個人 9)
- 新入会員 : 3 (内訳: 企業 3/ 団体 0/ 行政 0/ 個人 0) 株式会社シックス、株式会社グリーンテクノ 21、株式会社 PHG

### お問合せ/入会申込み

京都グリーン購入ネットワーク事務局 <http://www.k-gpn.org>

【TEL】 075-241-4664 (FAX同じ) 【E-mail】 [kgpn@dolphin.ocn.ne.jp](mailto:kgpn@dolphin.ocn.ne.jp)

〒604-0932 京都市中京区寺町通り二条下る呉波ビル3階 特定非営利活動法人 環境市民 内

## 会員募集中!



京都グリーン購入ネットワーク  
2008年2月発行